TSU

津

1:50,000

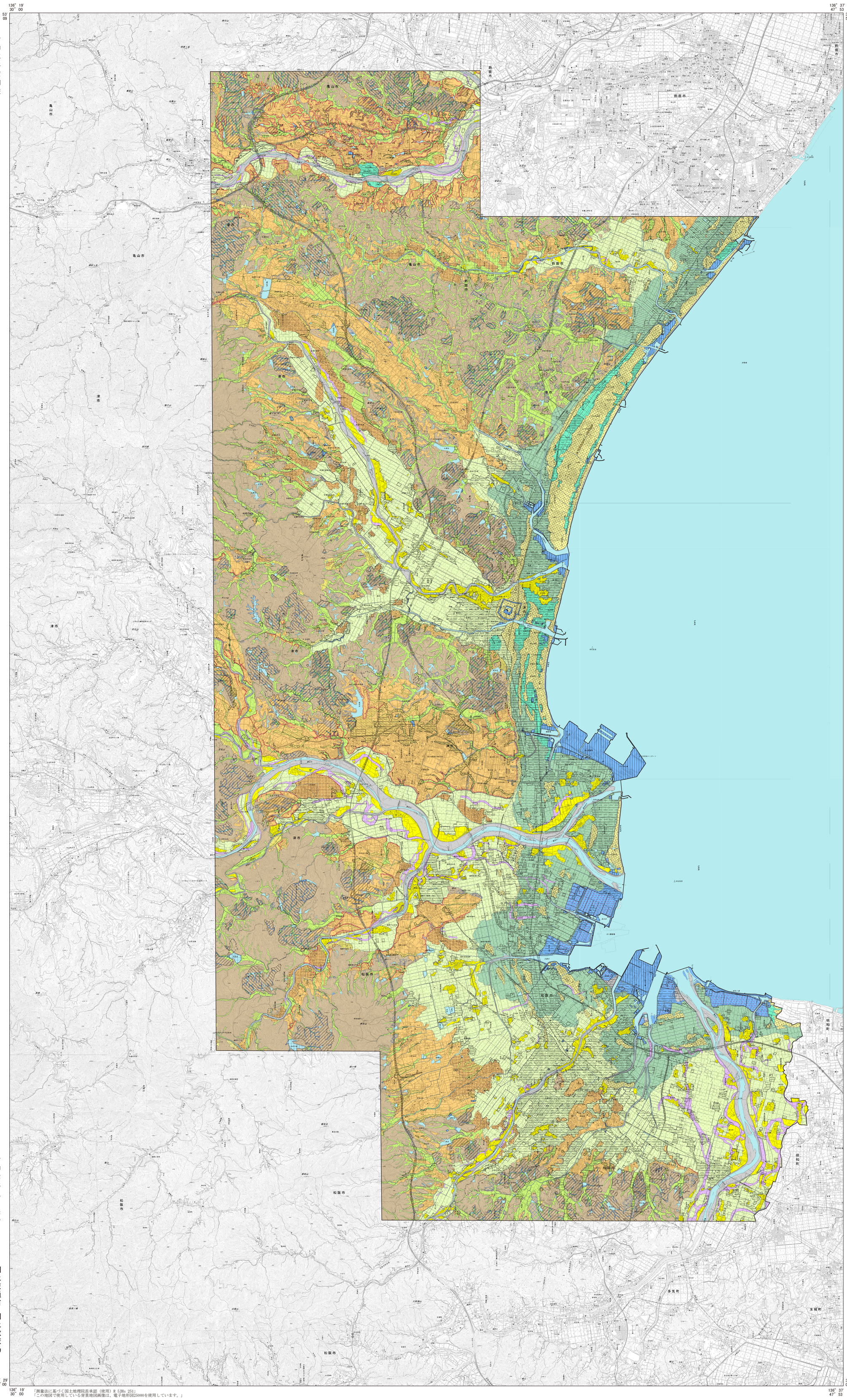
つ

土地分類基本調査図（土地履歴調査）

Classification Map of Artificial Landform and Natural Landform

人工地形及び自然地形分類図

令和五年度調査



令和六年三月発行

国土交通省　国土政策局

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 251」
「この地図で使用している背景地図画像は、電子地形図25000を使用しています。」

凡　例　Legend

人工地形分類　Artificial Landform

人工平坦地（切り盛り造成地）Artificial ground (cut and fill)

- 宅地等 Flatland for residential use
- 農地等 Flatland for agricultural use
- 旧谷線 Buried valley
- 改変工事中の区域 Area under modification
- 盛土地 Fill-up land
- 埋立地 Reclaimed land
- 干拓地 Drained land
- 切土地 Cut slope
- 人工水面 Artificial water surface

自然地形分類　Natural landform

山地 Mountains

- 山地斜面等 Mountain slopes
- 麓屏面及び崖錐 Colluvial slope or Talus
- 土石流堆積地 Depositional landform formed by debris flow

台地 Terraces and upland

- 砂礫台地（更新世段丘）Gravel terrace (Pleistocene terrace)
- 砂礫台地（完新世段丘）Gravel terrace (Alluvial terrace)

低地　Lowland

- 扇状地 Alluvial fan
- 谷底低地 Valley bottom
- 氾濫原低地 Flood plain (back marsh)
- 自然堤防 Natural levee
- 旧河道 Abandoned channel
- 湿地 Wetland
- 三角州・海岸低地　Delta or Coastal lowland
- 砂州・砂堆（礫州・礫堆）Sand bar
- 河原・河川敷 Dry river bed
- 浜 Beach

水部　Water

- 現水部 Recent water surface
- 旧水部 Former water surface

副分類 Subdivision of Natural landform

- 崖 Cliff
- 凹地・浅い谷 Depression ・Shallow valley

1.「自然地形分類図」は、2万5千分の1土地条件図「四日市」（国土地理院,1967）、同「津」（国土地理院,1967）、同「松阪」（国土地理院,1967）、2万5千分の1治水地形分類図（更新版）「亀山」（国土地理院,2013）、同「鈴鹿」（国土地理院,2013）、同「津西部」（国土地理院,2013）、同「津東部」（国土地理院,2014）、同「大仰」（国土地理院,2013）、同「松阪港」（国土地理院,2014）、同「松阪」（国土地理院,2014）を基礎資料として編集したものである。基礎資料がない地域に関しては、以下の既存資料を参照し、空中写真及び旧版地形図の判読により作成した。参考にした既存資料は2万5千分の1沿岸海域土地条件図「四日市」（国土地理院,1972）、同「津東部」（国土地理院,1972）、同「松阪」（国土地理院,1974）、2万5千分の1都市圏活断層図「亀山」（国土地理院,2010）、同「四日市（第2版）」（国土地理院,2010）、同「津（第2版）」（国土地理院,2010）、同「松阪」（国土地理院,2010）、及び5万分の1土地分類基本調査（地形分類図）「彦根東部・津島・御在所山・亀山」（三重県,1996）、同「四日市」（経済企画庁,1958）、同「津西部・津東部」（三重県,1988）、同「二本木・丹生」（三重県,1998）、同「松阪」（三重県,1988）、同「伊勢・贄浦」（三重県,1991）。
判読に使用した空中写真はM496（1947年9月23日米軍撮影）、 M498（1947年9月23日米軍撮影）、M527（1947年10月4日米軍撮影）、 M661A（1947年11月21日米軍撮影）、 M661-1（1947年11月21日米軍撮影）、 M873（1948年3月30日米軍撮影）。

2.「人工地形分類図」は、調査時点の最新の電子地形図25000の読図並びに基盤地図情報（数値標高モデル,2023年7月14日入手）、 空中写真CKK20115（2011年11月4日国土地理院撮影）及びCKK20116（2011年10月9日国土地理院撮影）の補足判読より作成したもので、基本的には電子地形図25000による地形の状況を反映しているが、最新の地形改変の状況が表現されていない場合がある。

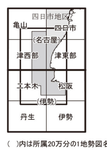
3.自然地形分類の現水部については、数値地図（国土基本情報, 2023年7月14日入手）の水涯線及び海岸線のデータを編集して作成した。

4.本図の作成に当たっては、名古屋大学の海津 正倫名誉教授、南山大学の藤本　潔教授、東北大学の堀　和明教授のご指導をいただいた。

摘　要

1. 経緯度の基準は世界測地系
2. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、
   座標帯は第53帯，中央子午線は東経135°
3. 作業機関　国土地図株式会社
4. 背景地図　電子地形図25000（令和5年7月調製）
5. 対応する二次メッシュコード
   513652, 513653, 513654, 513655,
   513662, 513663, 513664, 513665,
   513672, 513673, 513674, 513675,
   523602, 523603, 523604,
   523612, 523613, 523614,
   523622, 523623, 523624, 523625

索引図



（　）内は所属20万分の1地勢図名

行政区画

三重県
1. 鈴鹿市
2. 亀山市
3. 津市
4. 松阪市
5. 伊賀市
6. 明和町
7. 玉城町
8. 多気町

滋賀県
9. 甲賀市

1:50,000　　津

1000m　0　1000　2000　3000

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (C) 2024